

令和七年度入学者選抜試験問題（教育文化学部・地域文化学科）

小論文

総合型選抜Ⅰ

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 この問題冊子は、四ページあります。解答用紙は一枚あります。問題は二題あります。二題すべてに解答しなさい。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

村上靖彦著 『客観性の落とし穴』(筑摩書房、二〇二三年)より一部改変

問一 この文章において、本文中の引用部分に引いた傍線部「恐怖の対象は(たぶん)これらではなくて、実は確率そのものなのである」の意味を、本文中の著者の文章を引用して一〇〇字程度で説明しなさい。

問二 数値化されたりリスクの確率を重んじる社会について、著者が考える個人や組織・社会がリスクを重んじる理由を説明したうえで、個人や組織・国家等がリスク計算に基づいた合理性に従って行動することのプラス面とマイナス面について、あなたの考えを七〇〇字以内で論じなさい。その際に具体例を挙げて構いません。